

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	秋桜あさひ			
○保護者評価実施期間	令和 8 年 3 月 2 日		～	令和 8 年 3 月 2 4 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和 8 年 3 月 2 日		～	令和 8 年 3 月 2 4 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 4 月 3 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い敷地があるので外での活動がやりやすい環境にある。	自転車を準備してあり自転車に乗ったり練習したりすることができる。ボール遊び(サッカー、野球、バスケ)ができるように手作りしている。畑もあるので野菜を育て児童たちが収穫できるようにしている。また、虫取りなどの活動も行える。	児童にどんな遊びがやりたいのかを聞いて遊具などを充実させていきたい。野菜などについても収穫したい野菜などを聞いて育てるところから出来るようにしていきたい。また、収穫だけではなく育てる工程から参加していけるように考えていく。
2	季節に合わせた制作物を行う。	春夏秋冬に合った制作物を提供している。あまり難しくならず、かといって簡単すぎる物にならないように工夫している。ちぎり絵に関しては折り紙だけではなく綿など紙以外のものも使用している。	制作物に関しては一人ひとりの能力に合わせた制作工程を準備できるようにしていきたい。長期休暇などで楽しみながら作成することができる制作物を考えていきたい。ちぎり絵は、色々な素材を使いながら制作し興味をもってもらいたい。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	5領域を盛り込んだ支援が不十分である。	領域「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の領域を児童一人ひとりにどのように盛り込んでいくのが課題。	領域「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」について会議などで話し合い個別支援計画に入れていく。
2	地域との交流・他事業所などとの連携があまりない。	地域に住む住民や学校や他事業所との交流や連携などがあまり行えていないため考えていきたい。	学校とは普段のやりとりなどを深めながら連携を取りやすい環境を作っていく。また、行事やイベントなど地域に住む住民の方や他事業所の方たちと一緒にしていけるイベントや行事などを考えていく。
3			